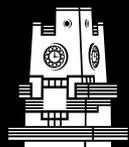


地球の持続可能性と倫理



東大先端研

Research Center for
Advanced Science and Technology
The University of Tokyo

東京大学先端科学技術研究センター

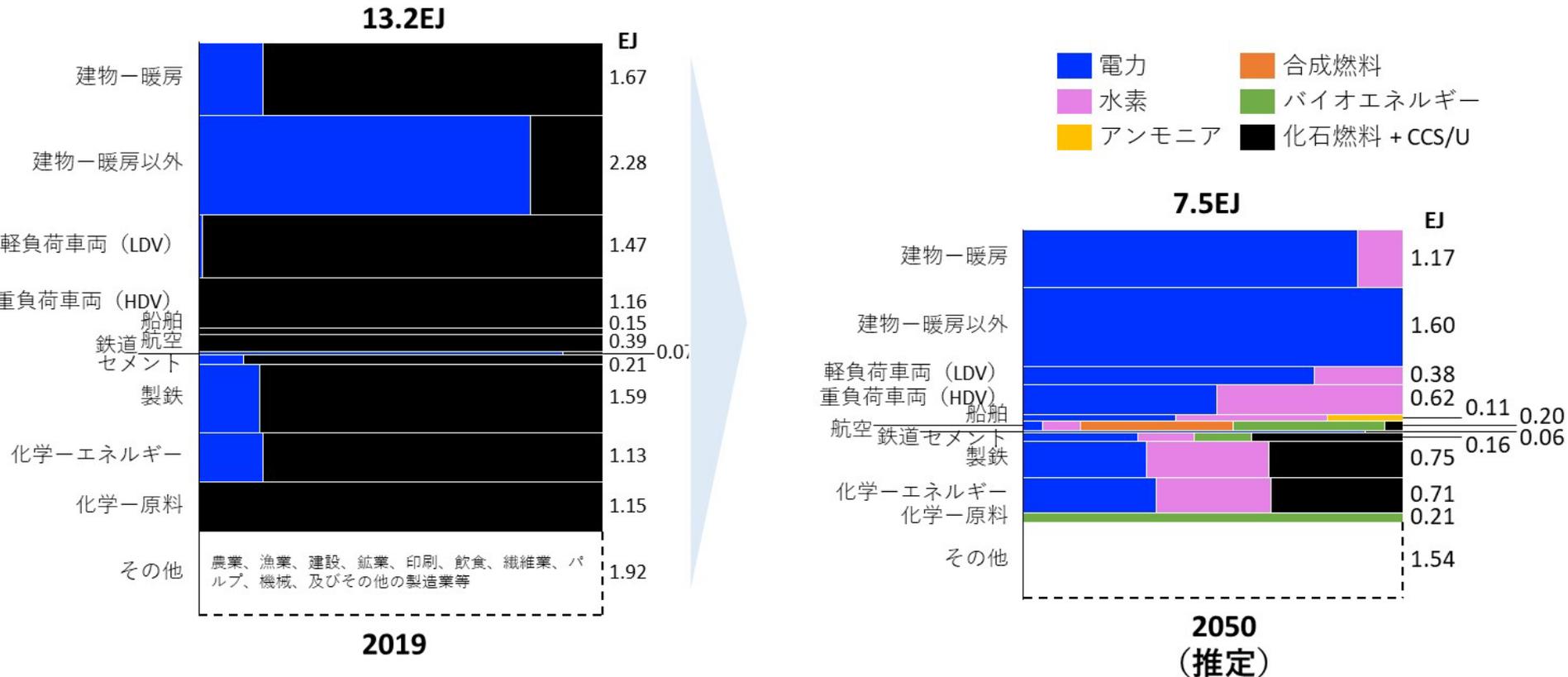
杉山 正和

カーボンニュートラル

Net Zero Japan 2050 —Summary for Business Leaders—

“2050年の脱炭素化シナリオの中間報告まとめ”

東京大学 グローバル・コモンズ・センター <https://cgic.ifui.u-tokyo.ac.jp/topics/eticgc2306/>



- 産業革命以来のエネルギーシステム変革が求められる。
- トランジションの利益を感じられない。(エネルギーコスト増など)
- 他の国がサボったら、我が国の努力は報われない。

エネルギーシステム変革：過去と今後

□ 過去の変革

- 石炭→石油：燃焼効率増，利便性向上
 - 自発的な変革が可能
- 石油→天然ガス：公害防止
 - 眼の前で人命が脅かされると，人類は動く。

□ 今求められる変革

- 化石資源→再エネ・水素：利便性低下，コスト増
 - 貨幣価値だけでは変革の駆動力なし。
 - CO₂蓄積は将来の世代に大きく影響。現役世代への影響少。

(炭素税等の修正を加えた) 資本主義のもとでは
カーボンニュートラルの実現は危うい。

→倫理が主導する社会変革は実現可能か？